

「山口市文化創造ビジョン（案）」に対する御意見及びこれに対する市の考え方

募集期間：令和2年2月12日（水）～令和2年3月13日（金）

意見提出者：1名

パブリック・コメントの手続きにより提出された意見の要旨及びこれに対する市の考え方は以下のとおりです。

なお、これにより計画内容を修正した個所はございません。

意見者	意見の要旨	意見に対する市の考え方
意見者1	1 市民文化活動の充実と支援 「質の高い美術文化に触れる機会の提供」とあるが、どこに何が山口市にあるのか？情報芸術センターに多額の税金を投入して16年間過ぎ、催事を時々見に行くがこれが芸術か？と目を疑う。幼稚な仕掛けを多額の税金を使い、現代アートとか体験型芸術などと装っている。例えば、100円でも料金を取ってでも見せられる芸術が本物の芸術ではないか。	本ビジョンでは、本市が有する多様な文化施設などの学びと鑑賞の場を活用し、子どもから大人まであらゆる世代の人々の文化芸術活動や学習機会の充実を図り、多様な価値観や創造性を育む取組を進めることとしています。なかでも、山口情報芸術センター[YCAM]においては、平成15年の開館以降、本市における新たな文化創造活動のプラットフォームとして、本市の個性の創造と発信につながる新しい価値の創造に取り組んできたことにより、国内外から高い評価をいただくとともに、メディアを活用した新しい芸術表現の追求や、地域課題の解決に向けた取組、人材育成の取組を通じて、市民の皆様の柔軟な発想や創造性を育てまいりました。本市におきましては、引き続き、多様な地域資源や文化施設を生かしながら、鑑賞・参加・体験機会の充実を図るとともに、市民の皆様の主体的な文化活動の促進・支援を進めてまいりたいと考えております。

<p>2 次世代を担うひとづくり アーティストの発掘・育成支援</p> <p>C.S 赤れんがの催事には、さまざまな作品を展示する主催者がいる。見に行くと話を聞くと、人里離れた C.S 赤れんがより横に図書館のある集客力の強い情報芸術センターで行いたいと言う声を聞く。このような地元の人たちこそ次世代を担う人たちであり、情報芸術センターに常設の展示室が必要であろう。地元の税金で、山口市以外の芸術家もどきを約40人ほど情報芸術センターで雇っているが税金の無駄である。</p>	<p>本ビジョンでは、文化創造の源となるのは人であり、地域アイデンティティであると捉え、本市の歴史や文化芸術に誇りや愛着を持ち、新たな文化芸術を創造する人材を、地域や教育機関、文化施設等、多様な主体の連携のもと、育てていく取組を進めていくこととしています。本市の文化施設につきましては、それぞれに多様な機能や役割を有しており、これまでも、市民の皆様による様々な事業や活動が展開されております。引き続き、文化施設等と連携し、文化事業の後援や助成金による支援等も行いながら、市民の皆様の文化活動の活性化を図りつつ、次代を担う人づくりに取組んでまいりたいと考えております。</p>
<p>3 世界に向けた魅力ある情報の発信</p> <p>情報発信の戦略化とあり、留学生のインバウンド・観光大使任命などと市は浮かれているが税収は歳入の30%しかなく、あと70%は政府の目減りする交付金頼みの現実では市民生活の方が優先であろう。</p>	<p>本ビジョンでは、本市の文化的魅力の効果的な情報発信などによる観光振興への取組を進めることで文化芸術による新たな価値の創造に取り組むこととしております。また、本市の目指すまちの姿に向けた基本的方向性の一つとして、本市に受け継がれた歴史や文化、自然が調和するまちを目指しており、多言語化を進めるにあたりましても、景観やデザイン性にも十分に配慮し、日本古来の文化や伝統の良さ、街並みの美しさを大切にしながら、国内外へ向け、効果的な情報発信に努めてまいりたいと考えております。</p>
<p>4 Web や案内サイン等の多言語化を進める必要。</p> <p>この様な事をすれば、どこの国の文字盤かわからなくなり日本古来の文化や伝統そして街並みが壊れてしまう。政府のインバウンドなどと横文字を使用した煽動行為は、外国依存の高い日本になり後進国に成り下がる一方であろう。</p>	<p>本ビジョンでは、本市の文化的魅力の効果的な情報発信などによる観光振興への取組を進めることで文化芸術による新たな価値の創造に取り組むこととしております。また、本市の目指すまちの姿に向けた基本的方向性の一つとして、本市に受け継がれた歴史や文化、自然が調和するまちを目指しており、多言語化を進めるにあたりましても、景観やデザイン性にも十分に配慮し、日本古来の文化や伝統の良さ、街並みの美しさを大切にしながら、国内外へ向け、効果的な情報発信に努めてまいりたいと考えております。</p>

	<p>5 姉妹都市・友好都市との文化交流の推進 韓国や中国など国家をあげて敵対行動国と長年交流して来ても、結局は国家摩擦になっており税金の無駄使いでしかない即刻やめるべきである。</p>	<p>本ビジョンでは、豊かな自然と歴史文化が調和した多様な交流が生まれるまちの中で、市民一人ひとりが文化的な潤いを実感できる創造文化都市を目指しています。こうした中、海外都市との交流では、これまでも大内文化をはじめとする歴史的な由縁を背景とした姉妹都市交流などを継続して行っており、歴史的なつながりを誇りに感じながら市民の相互交流を図ってまいりました。今後も姉妹都市をはじめとした海外都市との交流を通じて新たな文化的価値を創造するとともに、国際社会における多文化共生を育む機会の創出にもつなげてまいることとしております。</p>
	<p>6 機械仕掛けの芸術をやめる 特に電子機械を使用する芸術もどきは、発達期の子供の情緒不安定化や三半規管を害するものであり古典的な芸術を推奨すべきである。</p>	<p>本ビジョンでは、市民の皆様の文化的な素養を育むため、子どもから大人までのあらゆる世代において、音楽、文学、絵画、工芸、メディアや科学技術に至るまでの幅広い分野における文化芸術活動に触れる機会の創出を図ることで、市民の皆様の感性が自然な形で育まれ、本市の個性としても定着するまちづくりを進めることとしています。今後とも、市民の皆様の幅広い文化芸術に触れあう機会の創出を図りながら、未来を担う子どもたちの感性や創造性を育む人材育成にも取り組んでまいりたいと考えております。</p>

	<p>7 山口市を文化都市と言うか若しくは文化都市と言うならば自称芸術家や文化人が最低でも、文化芸術活動を行って生活できる街に行こうではないか。</p>	<p>本市では、平成19年から、山口市芸術家育成支援事業において「やまぐち新進アーティスト大賞」を創設し、発表機会の提供や情報発信などによるアーティストの育成支援に努めてまいりました。本ビジョンでは、この取組を継続するとともに、日々の暮らしの中にアートがある環境づくりに取り組むことで、市民の皆様がアーティストの文化芸術活動を支え、アーティストの文化芸術活動が市民の皆様の創造力を育んでいく文化芸術による好循環・好影響のまちづくりを進めてまいります。</p>
--	--	---